



おおとりっ子 No.5

平成 28 年 6 月 20 日 発行

目指せ「あいさつ」世界一

先日、児童会が中心となって「あいさつ運動」が行われました。途中、2日間は高陵中学校の先輩方との合同でした。みんな元気にはいかないまでも、笑顔でうれしそうにあいさつをかわしていました。言葉のあいさつだけでは、もの足りなくなってきたのか手のひらと手のひらを合わせるハイタッチのようなものが始まりました。面白いもので、手と手を合わせると今まで以上に笑顔で素敵な気分になれます。

「あいさつ」は、相手があってこそそのものです。自分が相手の存在を認め、自分とのかかわりを大切にしていきたいという気持ちの表れです。ですから、朝一番に家族でも「おはよう」のあいさつは一日の始めとしてとても重要な役割をしています。朝食には「いただきます」これは、準備をしてくれた家族だけでなく、朝食をいただける感謝の気持ちを込めて言います。子供たちの感謝の気持ちを育てる基本とあっていいでしょう。「ってきます」「行ってらっしゃい」これは、家族が元気に安全に過ごせることを祈って言います。家庭の外で仕事や学習を終えて、無事に家庭に帰ってきますように願ってのことです。

あいさつは、感謝の気持ち、家族愛を育てる基盤となります。それは、家庭だけでなく地域や学校でも同じ事です。是非、世界中で一番あいさつが交わされる、あいさつの上手な「おおとりっ子」になってほしいものです。



ホームページの更新が次々とされています。是非ご覧ください。

<http://hiramai-e.el.tym.ed.jp/>

学校での子供たちの様子



4. 5. 6月誕生ランチ



図書委員会
読み聞かせ



プール開き



保健委員会
歯磨き指導



心温まる「おおとりっ子」

掃除の時間のことでした。「先生、5時間目よろしくお願いします」と養護教諭に声をかけている児童がいました。養護教諭に聞くと、「学年で歯磨き指導をするのです」とのこと。何気なく自然に話をしていたのですが、おおとりっ子の素敵な一面を見ることができ、うれしくなりました。何気ない会話でしたが、しっかりとあいさつの基盤ができています。これは、自然にできるものではありません。家庭や学級での子供に対する育て方、見守り方を垣間見ることができるのです。

また、プール開きでのことです。順番にプールに入っていったのですが、1年生は6年生に手をつないでもらったり抱っこやおんぶをしてもらったりと安心して入っていたのですが、2年生の児童で久しぶりに入ったせいかプールの端にしがみついて泣いている子がいました。そこへ、高学年の女の子がそっと手を伸ばし一緒に連れて行ってくれました。そして、一周する頃にはとびっきりの笑顔で一人水の中ではしゃいでいました。ここでも、おおとりっ子の優しさにふれとても温かい気持ちになれました。少ない人数だからこそ1年から6年生までの全員が家族のように仲良しで、一緒に成長しています。今後も素敵な一場面を見られることを楽しみにしています。

